

まちづくりの進め方

【現 状】

- 庁舎周辺エリアは、上町台地の北・中之島～大川の東南に位置する。現府庁所在地は、大阪城の旧三の丸にあたり、江戸時代は武家屋敷、明治期からは軍用地として利用されてきた。
- 谷町筋側は、商業・業務・住居など複合的な土地利用がなされているが、全体として、官公庁や学校等が立地する大きな区画が多い。
- このエリアは、「大阪の顔」である大阪城に隣接し、周辺地区の中でも、天守閣に最も近い眺望を得られ、谷町筋から大手門への歩行者動線の経路にあたる場所である。

【めざす方向】

- 落ちつきと風格のある環境を活かしながら、谷町筋のにぎわいと大阪城を結ぶ結節点に、新たな機能を導入し、後世にさらに良好な環境を引き継ぐ。
- 文化・観光・環境などの魅力を高め、大阪・関西とつながりながら、大阪の新しい魅力を発信できるまちをめざす。

【大阪城周辺への広がり】

■ 官公庁のまちから、人の集まるまちに転換

大阪城公園を中心とする豊かな環境と歴史的資産を活かし、既存の行政機能との調和や、周辺の文化・迎賓・業務施設との連携を図りながら、新たな都市機能を導入する。

■ 周辺との連携

- 観光
- 文化
(ミュージアム・芸術)
- 緑

大阪城周辺の再整備を先導



【進め方】

- 国・大阪市と連携しながら土地利用イメージを具体化していく。
- まちづくりを戦略的に進めるため、コンセプト・導入機能などを府が設定し、事業コンペを実施し、具体的な提案を求める。

キーワード： 観光・教育・健康・居住・環境など

土地利用構想の議論

土地利用基本計画の策定 (まちづくりコンセプト・導入機能)

事業コンペ

【土地利用の状況】

- 新行政棟・議会棟の着工凍結（H8）後、整備予定地を来庁者駐車場や工事ヤードとして、暫定利用。
- 広大な土地を長期間有効利用しないことは、府民にとって大きな損失。
- 国においては、警察本部西隣に合同庁舎を整備する計画がある。

